

## アフリカ支援 医師の魂

アフリカ南部ザンビアを中心に医療や農村開発を支援するNPOが県内にある。名前は「TICO」(0883・42・2271)。その代表理事が吉野川市山川町の医師の吉田修さん(54)だ。

30歳のとき、徳島大学の医局を飛び出し、青年海外協力隊に参加した。きっかけは、大学から帰る途中に列車の中で見た同隊のポスター。「(写真の)アフリカの子どもが僕を見ている気がした」

派遣先はアフリカ東部マラウイの国立病院。患者900人を医師5人

で診る。外科医は自分だけ。手術に明け暮れ、2年後、帰国を迎えたが、代わりの外科医は来ない。「こんな支援でいいのか」。1993年、団体を立ち上げた。

現地の活動に加え、月1回開くのが「地球人カレッジ」。ゲストを交え、国際協力や環境問題を話し合う。今回は6月11日。スローライフを目指すNGO「ナマケモノ倶楽部」の理事、宇野真介さんがゲスト。「経験や知識を共有し、地球のために何ができるのか、徳島から考え行動したい」と吉田さんは話す。(八角健太)

